

不動産鑑定業界と不動産市場の動向に関する定期調査(2019年1月現在)

設問1 不動産鑑定業界分野のトピックや貴団体の活動に関するご意見をお書きください。

整理番号	団体名	国名	回答
1	API (オーストラリア不動産協会)	オーストラリア	なし
2	JAREA (日本不動産鑑定士協会連合会)	日本	なし
3	FECOVAL in Mexico (メキシコ鑑定協会)	メキシコ	国際開発政策により、都市郊外の建設には政府の資金提供・支援が行われず。国内の都市のほとんどは中心地近辺で開発が進められ、すでに飽和状態にある設備に新たな影響が及び、その多くが現在リノベーション中である。市場は低所得者向け住宅よりも、中・高所得者向け住宅に好意的に反応している。このため、低所得者向けのニッチ市場は、銀行による過去の差押え物件の中に打開策を求めることになった。メキシコの大都市のほとんどで新築商業ビルの建設が増加しており、空地がないため大部分の地域で相場が急上昇している。以前活気があった工業地帯は、米国の外交政策の影響で最近縮小した。不動産に関する総合的な見通しは上昇基調にあるものの、経済は非常に脆弱である。
4	PARA (フィリピン鑑定協会)	フィリピン	当協会は、2018年第4四半期にIVSC（国際評価基準審議会）の準会員として承認された。
5	CILA (台湾鑑定協会)	台湾	1.資産クラスとしての「商業用不動産」の採用と、評価に対するその影響